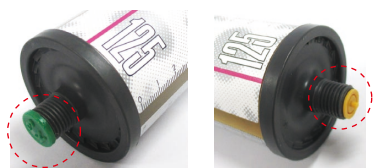


■ 仕様

使用温度範囲	-20℃～+55℃
取付方向	どんな方向にも取付可能
防塵・防水規格	IP68(水面下での使用可能)
保証期間	製造品より2年以内に使用開始ください。 製造年月日に関しては本体に印字されています。 例) 05/17・・・2016年第5週(2月初旬製造)
保管温度	20℃±5℃(直射日光を避け、暗所に保管ください)

■ 取り付け方法

- (1) グリス仕様の場合は、緑色のキャップを取り外します。(※1)
オイル仕様の場合は黄色いキャップの先端突起部のみをカッターのようなものでカットします。(※2)
黄色のキャップ自体は外さないでください。
- (2) 3mmの六角レンチを使用して(※4)ダイヤルの1～12ヶ月の内、希望の設定期間をセットします。(※3)
(潤滑油はすぐには出てきません。数時間から数日かかることがあります。ダイヤル(※3)を1に設定すると早く出てきます。)
- (3) 潤滑油の吐出を確認した後、潤滑箇所を手でねじ込みます。取付後定期的に作動状態(ピストンの位置)を確認ください。
- (4) 油性ペンを使用して、使用開始日をラベルに記入(※5)します。
- (5) 吐出期間が終了したら、新しいシマルーベに交換します。
◎使用中にガスジェネレーターの設定値(※3)を変えることにより、吐出期間/吐出量を変更することが可能です。また、設定を0にすれば、長期に機械を止める際など給油を一時停止することが出来ます。
1～12に再セットすれば、給油再開します。



(※1)

(※2)



(※3)

(※3)



(※4)

(※5)

■ 使用後の処理

- (1) 使用済みのガスジェネレーターは火気のない安全な環境下で取り外し、分解せずに電池として処理してください。
- (2) シマルーベの容器材質は右記の通りです。
使用後は各地域の条例に従って処理してください。

本体容器： ペット
 本体底部： ポリブチレンテレフタート
 ピストン： ポリオキシメチレン

H2ガス使用 可燃性 火気注意



■ 注意事項

- (1) グリス仕様にてシマルーベを初めて取り付けの場合は、潤滑箇所に事前にグリスガンで給脂し、グリスラインにつまりが無いようにして下さい。
グリスラインにつまりがあると背圧が高まり、シマルーベよりグリスが出ない原因となります。
シマルーベは安全のために内圧が6kg/cm²に達すると容器の底との結合部、あるいはガスジェネレータの上部が破壊され、圧力を逃がす様に設計されています。
- (2) グリス仕様にて配管やホースを使用して取付ける場合、内径6mm以上のものをご使用ください。また長さは50cmを超えないようにしてください。50cmを超える場合には配管抵抗でグリスが出ないことがあります。オイル仕様の場合は長さの制限はありません。
- (3) シマルーベはワンポイント給油器です。1つのシマルーベを分岐して複数の給油ポイントへ使用することは出来ません。

■ 警告

設置、使用中は本器表面が静電気帯電する様な抜き取り、エア掛け等はしないようにしてください。
清掃する場合は非危険場所に移し、静電気が帯電しない方法で行ってください。

■ ガスジェネレーター / 温度と吐出量の関係

ガスジェネレーターは分解の出来ない一体型の電池ユニットになります。
ガスジェネレータのダイヤルは20℃の時の温度条件下での吐出期間となります。
温度が20℃より高いときはダイヤル設定よりも吐出期間が早くなり、20℃より低い場合は吐出期間が遅くなります。

ガスジェネレーター



■ トラブル対策:問題に気づいたら

現象	原因	対策
潤滑油がでない	シールがカットされていない、あるいはキャップが外れていない ガスジェネレーターが0になっている グリスラインがつまっている ホースや配管取付時の背圧抵抗が大きい	シールをカットする、あるいはキャップを取り外す ガスジェネレータを1~12にセットする グリスガンにてグリスラインをきれいに にする ホースの適切な長さ(50cm以内)、内径(6mm以上)を確保する
吐出量が不足	ガスジェネレータの設定値が大きすぎる グリスラインに異物がある、または狭い	設定値を小さくする 例)12→6へ変更 グリスガンにてグリスラインをきれいに にする
吐出量が過多	ガスジェネレータの設定値が小さすぎる	設定値を大きくする 例)6→12へ変更